平成29年11月７日

各　位

会　社　名　：株式会社ワールドホールディングス
代 表 者 名　：代表取締役会長兼社長　伊井田　栄吉
（コード番号：2429　東証第一部）
問 合 せ 先　：経営管理本部　広報IR室長　工藤　洋
（電話：092-474-0555）

（訂正）「当社連結子会社・株式会社ワールドインテックによる京都大学及び大阪府立大学との共同研究契約締結に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は、平成29年11月６日に公表いたしました「当社連結子会社・株式会社ワールドインテックによる京都大学及び大阪府立大学との共同研究契約締結に関するお知らせ」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所につきましては下線を付しております。

記

１．訂正の理由

「当社連結子会社・株式会社ワールドインテックによる京都大学及び大阪府立大学との共同研究契約締結に関するお知らせ」の提出後に、記載内容に一部誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

２．訂正の内容

冒頭

（訂正前）

当社の連結子会社である株式会社ワールドインテック(本社:福岡県福岡市、代表取締役:伊井田　栄吉、以下「ワールドインテック」)が、国立大学法人京都大学化学研究所・寺西研究室及び公立大学法人大阪府立大学生命科学研究科・乾研究室と共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

（訂正後）

当社の連結子会社である株式会社ワールドインテック(本社:福岡県福岡市、代表取締役:伊井田　栄吉、以下「ワールドインテック」)が、国立大学法人京都大学化学研究所・寺西研究室及び公立大学法人大阪府立大学生命環境科学研究科・乾研究室と共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

２．事業概要

（訂正前）

（前略）

同大学との共同研究においては、同研究室内にワールドインテックR&D事業部専用の教育研修ラ

ボを本年９月４日付けで設置し、同研究室の研究を支援しながら実践を通じて社員を育成してまいります。また、寺西研究室に設置されている合成・分析機器等も活用できる研修プログラムを作成しました。

教育研修ラボには、自社専任の教育研修担当者を常駐させ、自社研究社員に分析化学、化学合成分野の機器技術の習得を行います。

産学合同にて高度専門技術教育と寺西研究室の研究開発を支援してまいります。

本年10月より京都大学内で共同研究を開始することといたします。

（大阪府立大学生命科学研究科・乾研究室）

大阪府立大学生命環境科学研究科・乾研究室は疎水性低分子輸送蛋白質群であるリポカリン属蛋白質の構造と機能の相関を様々な物理化学的手法を用いて測定し、薬剤活性を有する疎水性薬剤に対する新規ドラッグ・デリバリー・システム（DDS）の構築を目指しています。

（後略）

（訂正後）

（前略）

同大学との共同研究においては、ワールドインテックR&D事業部より共同研究員を配置し、同研究室の共同研究を支援しながら実践を通じて合成技術・分析技術を習得することで生まれる効果を社内教育にも活かして参ります。

また自社の共同研究員が自社の教育研修ラボに新たに設置した分析機器等を用いて共同研究先で培った実践に近い研修プログラムを自ら社員教育として行う体制を整えました。

自社研究社員において最新の分析化学、化学合成分野の機器技術と知識を向上させます。

産学合同にて寺西研究室の研究開発を支援し高度専門技術者教育に努めて参ります。

本年10月より京都大学内で共同研究を開始することといたします。

（大阪府立大学生命環境科学研究科・乾研究室）

大阪府立大学生命環境科学研究科・乾研究室は、生物学研究における in silico, in vitro, および in vivo の階層にとらわれない新規発想と手法によって蛋白質ベースの創薬開発、新規病態関連因子の探索および酵素の触媒機構の解明など新規領域の展開を目指しています。

（後略）

３．事業体制

（訂正前）

（京都大学化学研究所・寺西研究室）

寺西研究室内に設置する専用教育研修ラボに自社用の HPLC、GC-MS 等の機器を設置し、自社専任の教育研修担当者を常駐させ、自社研究社員に対し分析化学、化学合成分野の機器技術の習得を支援します。

(大阪府立大学生命科学研究科・乾研究室)

（後略）

（訂正後）

（京都大学化学研究所・寺西研究室）

京都大学化学研究所・寺西研究室との共同研究を通じて別途設置する自社教育研修ラボにて

HPLC、GC-MS等の機器を用いた、自社専任の教育研修担当者による、自社研究社員に対した分析化学、化学合成分野の機器技術、知識習得を支援します。

（大阪府立大学生命環境科学研究科・乾研究室）

（後略）

以　上